

# 健幸都市くさつの推進に向けて

～令和3年度の健幸都市づくり推進事業の主な取組～

令和3年2月24日  
草津市



# 草津市健幸都市宣言および草津市健幸都市基本計画の策定について

本市では、平成28年8月に「草津市健幸都市宣言」を行い、だれもが生きがいをもち健やかで幸せに暮らせる健幸都市づくりを推進するため平成29年3月に、「草津市健幸都市基本計画」を策定いたしました。

## 草津市健幸都市宣言

生涯にわたって心も体も健やかで幸せに過ごせること

これはわたしたち共通の願いです

心身の健康には 自分の状態を知ること 適度な運動と休養

バランスのとれた食事など 一人ひとりの取組が大切です

美しい自然や 住みやすい都市環境も大切です

そして ともに住む人と人との絆や協働も大切です

くさつは いにしえから 東海道と中山道がまじわる交通の要衝

宿場町として栄えてきました

人と人が出会い 心と体を休め 旅の疲れを癒してきました

琵琶湖・田園などの豊かな自然環境もあり

そこから得られる 恵みも豊富です

今を生きるわたしたちも この地で 出会いと自然に感謝しながら

住み続け 訪れることで 健幸になれるまちを

ともに創造していきましょう

草津市は 生涯にわたって 一人ひとりが自らの健康を大切にし

ともに支え合い ここに暮らすことによって

絆や喜びが生まれ 幸せが感じられる

笑顔あふれるまちを目指して

ここに「健幸都市くさつ」を宣言します。

平成28年8月28日 草津市長 橋川 渉

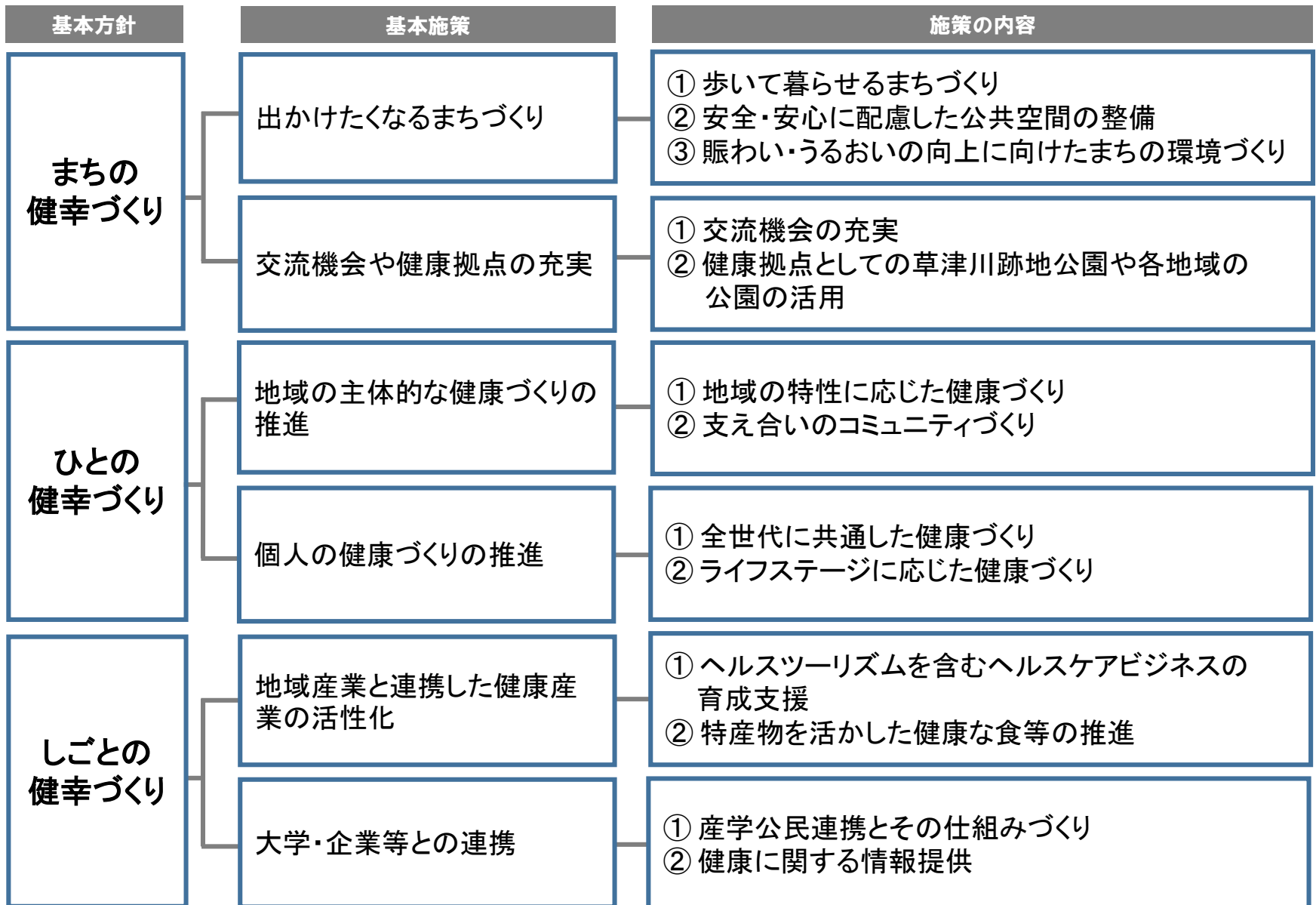
## 草津市健幸都市基本計画

- 「第6次草津市総合計画」を上位計画とし各種関連計画との整合を図りながら、市の様々な関連計画を健幸の側面から捉え、健幸都市実現のための取組を連携・強化していく計画です。

- 「草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、本計画においても「まち」「ひと」「しごと」を切り口に、健幸づくりの取組を定めています。
- 計画期間は、平成29年度から令和4年度までの6年間です。



# 健幸都市基本計画の体系



# 草津市健幸都市基本計画

## 基本施策 △基本方針▽

### 《まちの健幸づくり》

- (1) 出かけたくなるまちづくり
- (2) 交流機会や健康拠点の充実

### 《ひとの健幸づくり》

- (1) 地域の主体的な健康づくりの推進
- (2) 個人の健康づくりの推進

### 《しごとの健幸づくり》

- (1) 地域産業と連携した健康産業の活性化
- (2) 大学・企業等との連携

## 各施策ごとの令和3年度の主な取組

- ①まめバス実証運行費
- ②(仮称)草津市立プール整備費
- ③市民総合交流センター管理運営費
- ④くさつ健幸ステーション整備費
- ⑤草津川跡地整備費
- ⑥健幸フェア開催費
- ⑦草津川ハイライン事業費  
など

- ①新型コロナウイルスワクチン接種事業費
- ②児童福祉施設等における感染症対策事業費
- ③学校における感染症対策事業費
- ④地域包括支援センター運営費
- ⑤在宅医療・介護連携推進事業費
- ⑥くさつランフェスティバル開催費補助金
- ⑦(仮称)草津市第二学校給食センター整備費・運営費
- ⑧福祉の総合相談窓口  
など

- ①道の駅草津リノベーション構想策定費
- ②創業支援補助金
- ③ビワイチ観光推進事業
- ④産学公民連携による社会活動参加促進事業
- ⑤地域協働型キャリア教育推進事業費
- ⑥健幸都市くさつ広報・啓発  
など

# 健幸都市づくり関連事業の令和3年度の主な取組について【まちの健幸づくり①】

従来からの健康施策の枠組みを越え、ハード面からも健康づくりに取り組みます。

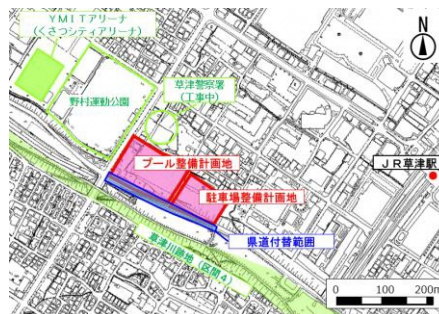
## ① まめバス実証運行費



バス交通空白地・不便地の解消や公共施設への移動手段を確保するため、新規路線としてJR草津駅西口から下笠方面までを運行するコミュニティバス「まめバス」の実証運行を行います。

【予算額】 8,796千円

## ② (仮称)草津市立プール整備費



(仮称)草津市立プール整備計画地

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の水泳競技会場として、また大会後も「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を図るための施設として、引き続き整備を進めます。

【予算額】 2,790,299千円  
(うち令和2年度補正予算 1,032,758千円)

## ③ 市民総合交流センター管理運営費



キラリエ草津外観(建物西側)

市民総合交流センター(キラリエ草津)は、既存の公共施設を集約し、新たに男女共同参画、子育て支援、市民交流のための機能等を備え、活動分野の異なる様々な団体が入居する公民の複合施設として令和3年5月に供用を開始します。

指定管理者による管理・運営を行いながら、複合施設の強みを生かし、市民(団体、企業等を含む)と行政が、互いに交流・協働することにより、社会的、公益的なまちづくり活動を推進するとともに、各入居団体の連携を図り、多様な市民活動の展開を支援します。

【予算額】 83,307千円



従来からの健康施策の枠組みを越え、ハード面からも健康づくりに取り組みます。

## ④ くさつ健幸ステーション整備費



【予算額】  
309千円

市民が自らの健康状態や健幸情報について知り、交流しながら健康づくりを進めていくことができる拠点として「くさつ健幸ステーション」を新たに市民総合交流センター(キラリエ草津)に開設し、市民の健康づくりと交流の機会を創出します。

## ⑤ 草津川跡地整備費



【予算額】  
24,712千円  
(区間4JR琵琶湖線上部道路拡幅設計等)

引き続き、草津川跡地の未整備区間の公園整備を進め、健康拠点としての空間づくりを行っていきます。また、草津川跡地公園において、ガーデニングサークル等との協働によるガーデニング活動を展開します。

## ⑥ 健幸フェア開催費



健康拠点である草津川跡地公園を活用して、より多くの市民へ健康づくりの重要性を発信し、健康づくりを楽しむ契機となる健幸イベントを引き続き開催します。

【予算額】 1,280千円

## ⑦ 草津川ハイライン事業費



駅周辺の地域活性化や鉄道利用の促進等を目的としてJR西日本と締結した協定に基づき、新たに連携イベントを実施し、相互に利用促進を図るとともに、共同で広く施設のPRを行います。

また、駅および公園の周辺店舗が参画可能なイベントとすることで、まちの回遊性を高めます。

【予算額】  
3,798千円

地域と個人の視点から、健康づくりに取り組みます。

## ① 新型コロナウイルスワクチン接種事業費



国の「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要領」に基づき、必要な体制を整備し、ワクチン接種を実施します。

新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図ります。

【予算額】

137,851千円

(令和2年度補正予算)

## ② 児童福祉施設等における感染症対策事業費



公立および民間保育所等や、児童育成クラブ、子育て支援施設等において、感染症に対する強い体制を整えるため、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費のほか、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品の購入、支援を行います。

【予算額】

67,920千円

## ③ 学校における感染症対策事業費



市立小中学校における感染症対策や教職員のオンライン学習等の研修支援、児童生徒の学びの保障等に向けた取組を進めます。

また、消毒作業等を行う学校衛生管理サポーターを各小中学校に配置します。

【予算額】 10,745千円



## ④ 地域包括支援センター運営費



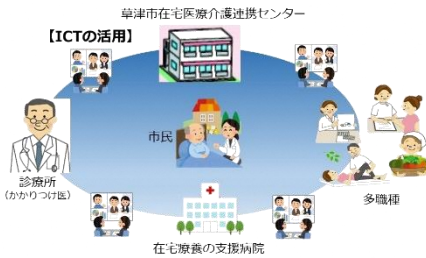
各中学校区に設置されてる地域包括支援センターにおいて、高齢者の増加やニーズの多様化に対応し、コロナ禍での感染防止策を講じたうえで適切な相談支援を継続できるよう、各地域包括支援センターにタブレット端末を導入するなど、業務の効率化を図りながら地域包括支援センターを引き続き運営します。

【予算額】

146,212千円

地域と個人の視点から、健康づくりに取り組みます。

## ⑤ 在宅医療・介護連携推進事業費



令和2年度に引き続き、連携推進拠点(草津市在宅医療介護連携センター)を中心として、在宅医療・介護の多職種による切れ目のない支援体制の構築を図ります。

また、新たにWEB会議開催にかかる体制を整備することで、コロナ禍においても、切れ目ない在宅医療と介護の連携体制を確保するよう努めます。

【予算額】  
11,768千円

## ⑥ くさつランフェスティバル開催費補助金



誰もが気軽に参加し楽しめるランニングイベントである「健幸都市くさつランフェスティバル」の開催に向け、民間事業者主体で構成する「くさつランフェスティバル実行委員会」に対して引き続き支援を行います。

【予算額】2,000千円

## ⑦ (仮称)草津市第二学校給食センター整備費・運営費



令和2年度に引き続き施設の建設工事を行い、施設完成後の令和3年度3学期から給食センター方式による中学校給食の提供を開始します。

さらなる教育環境の向上と食育の推進を図り、次代を担う子どもたちの健全な心身を育むとともに、すこやかな成長と学びを支えます。

【予算額】  
1,284,560千円



地域と個人の視点から、健康づくりに取り組みます。

## ⑧ 福祉の総合相談窓口



福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」では、生活困窮者や多様で複合的な課題を抱える人、ひきこもり等の相談を受けるとともに、関係課・関係機関との連携を密にし、適切な支援を行います。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況を踏まえ、「住居確保給付金」については、令和2年4月20日から支給対象者を拡大しております。離職・廃業や減収等により、経済的に困窮し、住居を喪失、またはそのおそれがある人に、家賃相当額を支給し、就労支援等を実施することで、住居の安定及び就労機会の確保を目指します。

【予算額】

34,375千円



産学公民が連携し、健康になれるまちづくりを進めます。

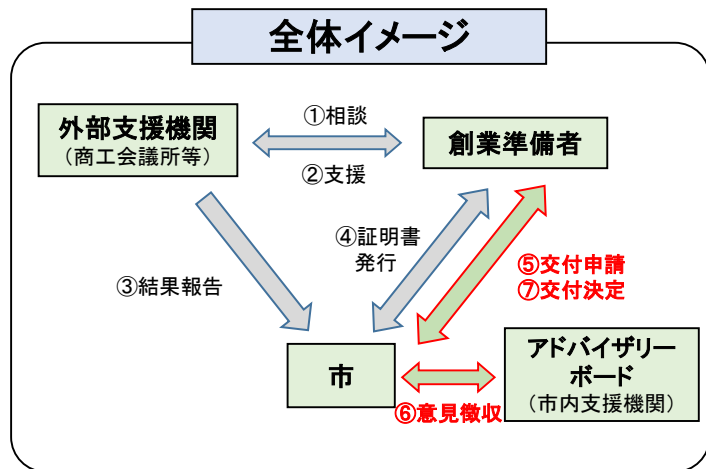
## ① 道の駅草津リノベーション構想策定費



道の駅草津の機能強化や魅力アップによる農業振興を図るため、「道の駅草津リノベーション構想」を新たに策定します。  
道の駅草津リノベーションの実現によって、地域の活性化や観光客の誘客促進が図れるなど、地方創生の拠点形成や農業振興を目指します。

【予算額】  
7,442千円

## ② 創業支援補助金



新たな事業の創出を促進し、市内における創業機運の醸成ならびに産業振興を図るため、個人等(創業準備者)の創業・起業に要する初期経費の一部を新たに支援します。

創業初期に要する費用の一部を支援することにより、創業・起業にチャレンジしやすい環境を整え、創業機運の醸成ならびに産業振興を図ります。

【予算額】  
1,100千円

産学公民が連携し、健康になれるまちづくりを進めます。

## ③ ビワイチ観光推進事業



サイクリストの誘客およびピーターの確保、地域資源の再発見、地域経済の活性化、自転車の安全な利用促進を目的にサイクリングイベントを引き続き開催します。

自転車を移動手段としてではなく、レジャーとして活用してもらうことで健康増進に繋がるとともに、草津市内を周遊してもらうことで草津市の魅力の再発見に寄与します。

【予算額】  
3,600千円

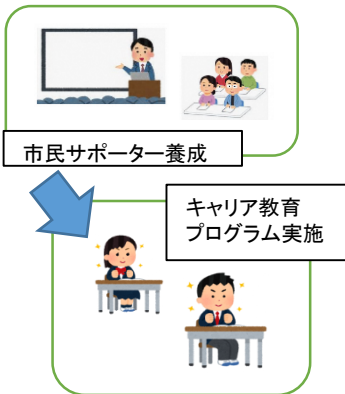
## ④ 産学公民連携による社会活動参加促進事業



草津の未来を考える産学公民のプラットフォームとしてUDCBKの機能を高め、アーバンデザインスクール、アーバンデザインセミナー、社会実験準備事業等を引き続き実施します。

【予算額】  
1,828千円

## ⑤ 地域協働型キャリア教育推進事業費



学校や家庭での教育と併せて、地域社会と連携・協働する新たな教育プログラムとして、NPO、企業、大学、行政等から市民サポーターを養成し、サポーターの協力を得ながら、中学生を対象にキャリア教育を引き続き実施します。

【予算額】 952千円

## ⑥ 健幸都市くさつ広報・啓発



引き続き、日常の何気ない場面で健康づくりを意識できるよう、啓発横断幕や公用車を利用した「健幸都市くさつ」の広報・啓発を行います。

【予算額】  
414千円

啓発ミニのぼり(令和2年度作成)